

事業所名

放課後等デイサービス もみの木

支援プログラム

作成日

2025年

2月

1日

法人（事業所）理念		大自然からと 私をとりまく人達からと 無限の恵みの光が 私にそれを感じ始めた時から 生かされている 私の幸せが生まれる 私の持つ力と 私の愛と 私の願いが 私をとりまく人達と わかちあえる時 私の幸せが生まれる					
支援方針		「生きる力」学ぶに向かう力や、知識および技能、思考力や判断力、表現力をバランスよくはぐくめるよう、社会福祉法人恵光園の持つ環境すべてをフィールドに学習支援・パソコン・買い物プログラム・音楽療法・農業収穫体験・動物のふれあい、おやつ作り、アート活動などを行います。					
営業時間		15時	0分から	17時	30分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支援内容					
本人支援	健康・生活	健康状態の維持・基本的な生活スキルの獲得。どのような活動で参加率が高くなっているのかなど、本人の強みを生活の中で探していきます。					
	運動・感覚	運動・動作の基本的技術の向上・運動補助技術(運動面を補う道具の提案・提供等)による出来ることを増やしていきます。					
	認知・行動	学校で学んだことをバランス良く育めるよう、社会福祉法人 恵光園の持つ環境すべてをフィールドにパソコン動物とのふれあいを含め、経験・体験していきます。					
	言語 コミュニケーション	言葉でのコミュニケーション(表出言語)、非言語でのコミュニケーション、視覚的支援(カードを使用)、読み書きを用いて、すべての人との伝える・伝わったを体験できるように関わっていきます。					
	人間関係 社会性	一人ひとりが毎日楽しく、また将来に向け自立した生活が送れるように本人と話し合いながら、活動内容を決定していきます。本人の要望に即した、提案と交渉を身に着けるため、日々の生活のできることを増やしていきます。					
家族支援		個別支援計画の原案会議に意見を伝える機会を持つ。また、日々心配事や、発達に対するアドバイスなど、現状を把握しながら、面談を常時希望したときに日程調節して行うことができます。			移行支援	地域の習いごと教室に出向き、本人の強みを生かしながら時間の共有ができるように、アドバイスを継続的に行っていきます。地域の学童保育一の移行も考えていきます。	
地域支援・地域連携		地域の社会資源に出向き、本人を取り巻く状況に応じて、連携していくこと。また、地域の人と顔見知りになるような関係づくりを行っていく。青豊高校の学生のボランティアとの関りの提供を行う。			職員の質の向上	事業所内研修・外部研修・講師派遣など	
主な行事等		花見・豊前市民プール遊び・恵光園福祉の文化祭・かきぞめ・節分・保護者会・避難訓練					